

6月度月例句会 会報・HP掲載句

六月詠草

兼題：昼顔、葛餅、当季雑詠

昼顔を揺する汐風オホーツク	清家 静楓
昼顔のしぼみかくるる夕野中	生江沢五風
昼顔や廃路のレール見え隠れ	中山 知祐
蔓伸ばし昼顔の花陽を浴びる	森 邦彦
掴まんとすればおののく葛饅頭	六川 里風
葛餅や先祖の足跡辿る旅	佐藤 政百
葛餅は母の好物骨休め	川田 勝美
葛餅や歯欠け頬張る笑みの母	小野 信
枇杷啜る余生いよいよ杳として	宮川 至剛
幼子の寝息静かに夏木立	石原 克己
みな下を向きて落ちたる紅つつじ	城戸崎雅崇
真昼には真昼の暗さ青葉闇	安井 正浩
自転車で孫と登るや夏雲に	眞田 宗興

以上